azbil

ゾーンマネージャ Infilex™ ZM 形WY5522

■ 概 要

Infilex ZMは、弊社中央監視装置のもとで、Infilex VC、Infilex FCなどのサブコントローラを管理します。

集中操作器ネオターミナルと接続できます。 居住者が空調入切や設定操作を行えるだけでなく、 屋外温湿度や降雨などの情報も表示できます。 Infilex ZMは、弊社中央監視装置とIP通信により接

また、サブコントローラ、ネオターミナルとは、 伝送幹線 (SC-bus) により接続できます。



■特 長

続できます。

- 小型 省スペースが実現できます。
- 施工方法 通信端子台にワンタッチねじレス端子台を使用 しているため、配線作業を省力化できます。 また、取付方法は、DINレール取付、またはね じ取付から選択できます。
- 下位に接続された最大50台のInfilex VC、Infilex FC、Infilex SCの管理を行います。 個別に中央監視装置からの発停・故障監視・計測・設定ができます。これらの管理をグループ単位で行い、50台のInfilex VC、Infilex FCのどのようなグループ構成にも対応できます。また、発停はグループ単位、計測は個別といった管理もできます。
- 下位に接続されたInfilex VC、Infilex FC、Infilex SCの管理のために、50本のタイムスケジュール、アナログ警報監視プログラム、運転時間/投入回数積算プログラムを持っています。 危険分散や監視の高速化を中央監視システム全体として実現します。

- 給気温度ロードリセット制御・ファン回転数制 御・連動運転などVAV (Infilex VCにて制御) と AHU (Infilex ACなどにて制御) の関連制御を行います。
 - 本製品1台でAHU4系統まで制御できます。 また、インテリアVAVとペリメータFCUの混合 ロス防止制御も行えます。
- AHU系統単位のVAV一括で、中央から最大風 量/最小風量を指定するVAV風量調整支援機能や 本製品単位のバルブー括で全開/全閉を指定する AHU/FCU流量調整・配管フラッシングの支援 機能を持っています。

安全上の注意。

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲 内で使用目的を守って、正しくお使いください。 お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られ る所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設 計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、 原子力用途における放射線管理区域内では、使用 しないでください。

特に • 人体保護を目的とした安全装置 • 輸送機 器の直接制御(走行停止など) ● 航空機 ● 宇宙機 器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場 合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期 点検の実施など、システム・機器全体の安全に配 慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方 法・用途などについては、弊社担当者にお問い合 わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、 責任を負いかねる場合がございますので、ご了承 ください。

■ 計装設計上のお願い

万が一、本製品に故障などが生じた場合を考慮 し、システム・機器全体の安全設計を実施してくだ さい。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない 範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して 製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから 製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用 条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎 に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行 われる試験を行って算定された数値に基き、経年 劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少 ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、15年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換な ど、定められた保守が適切に行われていることを 前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してくだ さい。

■「警告」と「注意」

∕ 警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死 亡または重傷を負う危険の状態が生じ ることが想定される場合。

/(注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽 傷を負うか、または物的損害のみが発 生する危険の状態が生じることが想定 される場合。

■ 絵表示

記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生 する可能性のある危険 (の状態)を警告 (注意) する場合に表示 (左図は感電注意の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の 🚺 行為を禁止する場合に表示 (左図は分解禁止 の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の 行為を義務付けする場合に表示 (左図は一般 指示の例)。

▲ 警告

本製品は盤内など管理者以外が触れない場所 に設置してください。 感電するおそれがあります。

本製品はD種接地以上に接地してください。

不完全な接地の場合、感電のおそれや故障の 原因になることがあります。

配線・保守などの作業は、本製品への電源を 切った状態で行ってください。 感電のおそれや故障の原因になります。

端子カバーを着脱するときは、配線が活線状 態でないことを確認し、結線作業後は端子力 バーを元に戻してください。

端子カバーをしないと感電するおそれがあり ます。

注 意 Λ

本製品は仕様に記載された使用条件(温度、 湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気

など)を満たす場所に設置しその仕様範囲内 で使用してください。

火災のおそれや故障の原因になることがあり ます。

雷対策は、地域性や建物の構造などを考慮 し、実施してください。

対策しないと、落雷時に火災や故障拡大の原 因となります。

本製品をノイズの多い環境に設置するとき は、ノイズ対策を行ってください。

誤動作したり、故障する原因となるおそれが あります。

∧ 注 意

- 取り付けや結線は、計装工事、電気工事など の専門の技術を有する人が行ってください。 施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。
- 配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。 施工を誤ると、火災のおそれがあります。

端子台に接続する圧着端子に絶縁被覆を使用 してください。

- ・ 絶縁被覆がないと、短絡による火災や感電のおそれがあります。
 - 端子ねじは確実に締めてください。
- 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の 原因になることがあります。

配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸 法を守ってください。

- 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
- 本製品の空き端子は、中継などに使用しない でください。

故障の原因になることがあります。

本製品の通風孔を、ふさがないでください (また、保護シートは設置・結線後にはがしてください)。

通風孔をふさいだままにすると、故障の原因 になることがあります。

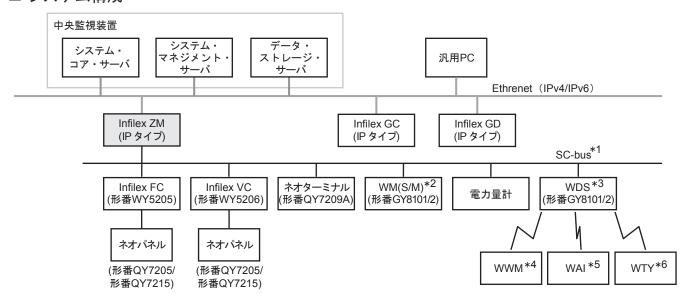
▲ 注 意

- 本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、 安全のために新品に交換してください。 そのまま使用すると、火災のおそれがあります。
- 本製品を分解しないでください。 故障の原因になることがあります。

本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付

- けてください。 バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。
- 使用後のバッテリーは火中に投じたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。 破裂や発火のおそれがあります。

■ システム構成



- *1 SC-busは、サブコントローラバスの略称です。
- *2 WM (S/M) ワットメータ (シングルサーキット) の略称です。
- *3 WDSは、ワイヤレスデータスポットの略称です。
- *4 WWMは、ワイヤレスワットメータモジュールの略称です。
- *5 WAIは、ワイヤレスアナログインプットアダプタの略称です
- *6 WTHは、ワイヤレスサーモヒューミセンサの略称です。
- (注)接続可能な中央監視装置については、弊社担当者にお問い合わせください。

■ 形 番

| 形番 | | | 内 容 |
|--------|---|------|-------|
| WY5522 | | | 基礎形番 |
| | W | | ワイド電源 |
| | | 1000 | 固定 |

● 別途手配品 (取付方法により選択)

| 形番 | 内 容 |
|--------------|-------------|
| 83165861-001 | ねじタブ |
| 83104567-001 | DINレール押さえ金具 |

■ 仕 様

| 項目 | | | 仕 様 | | |
|-----------------|---------|-------------|--|--|--|
| 電源仕様 定格電圧 | | | AC100~240V 50/60Hz | | |
| | | 使用電源電圧 | AC85~264V 50/60Hz | | |
| | | 電源断検出 | AC80V以下 | | |
| | | 消費電力 | 52VA (SC-bus50台時) | | |
| | | 漏えい電流 | 2mA以下 | | |
| 環境条件 | 定格動作条件 | 周囲温度 | 0~50°C | | |
| | | 周囲湿度 | 10~90%RH (ただし、結露なきこと) | | |
| | | 標高 | 2,000m以下 | | |
| | | 振動 | 5.9m/s ² 以下 (10~150Hz) | | |
| | 輸送·保管条件 | 周囲温度 | -20~60°C | | |
| | | 周囲湿度 | 5~95%RH (ただし、結露なきこと) | | |
| | | 振動 (保管) | 5.9m/s ² 以下 (10~150Hz) | | |
| | | 振動 (輸送) | 9.8m/s ² 以下 (10~150Hz) | | |
| 設置場所 | | | 盤内取付 | | |
| LED表示 | | | 『■ 表示』を参照してください。 | | |
| 停電保持 | | RAM*1、RTC*2 | リチウム電池による | | |
| | | データファイル | 不揮発性メモリによる | | |
| 通信 Ethernet 規格 | | 規格 | ISO/IEC8802-3 (IEEE802.3) 、10BASE-T/100BASE-TX | | |
| (IP通信部) | | | 自動認識・自動切替 | | |
| | | 通信速度 | 100Mbps/10Mbps | | |
| | | 通信モード | 半二重/全二重、自動認識・自動切替 | | |
| | | 接続距離 | 100m以下 ISO/IEC8802-3の仕様 | | |
| | | IPアドレス初期値 | IPv4: 192.168.1.240 | | |
| | | | IPv6:MACアドレスにより自動生成 | | |
| | SC-bus | 伝送方式 | 電圧伝送 | | |
| | (制御部) | 伝送速度 | 4800bps | | |
| | | 伝送距離 | 1000m | | |
| 接続台数 | | 接続台数 | 50台 (ただし、NTは10台) | | |
| 質量 | | | 900g | | |
| 主要部材質、 | 色 | ケース | 変性PPE、ライトグレー | | |
| 接続方式 | | 電源、接地 | 端子台:M3ねじ (ピッチ7.62mm) | | |
| | | 機器内通信 | ワンタッチねじレス端子台 | | |

^{*1} 自由に書き込み、消去ができるメモリのことです。 電源をOFFにすると、記憶内容が消去されてしまいます。

^{*2} リアルタイムクロックのことです。 電源OFF時に、リチウム電池によりバックアップされ、計時を保証します。

■ 配線仕様

| 項目 | 配線 | 配線長 | 条件 |
|----------|---|-------|----------------------|
| 電源 | IV2.0mm²、またはCVV2.0mm²以上 | | |
| 接地 | IV2.0mm ² 、またはCVV2.0mm ² 以上 | | D種接地相当 接地抵抗100Ω以下 |
| Ethernet | 2対UTPツイストペアケーブル、カテゴリ5 | 100m | |
| SC-bus | LANケーブル EIA-568準拠 カテゴリ3以上 ϕ 0.5×4P | 1000m | |
| 機器内通信 | IV、またはKPEV0.9mm ² | | 強電系と同じダクト に入れないこと |

(注) 電源、設置はM3端子台を使用しています。 線端に圧着端子が必要です。

■ 外形寸法

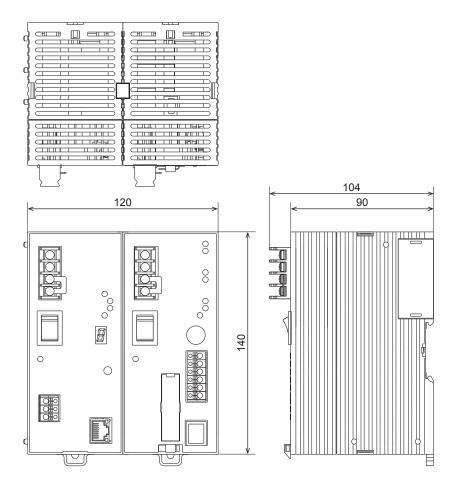
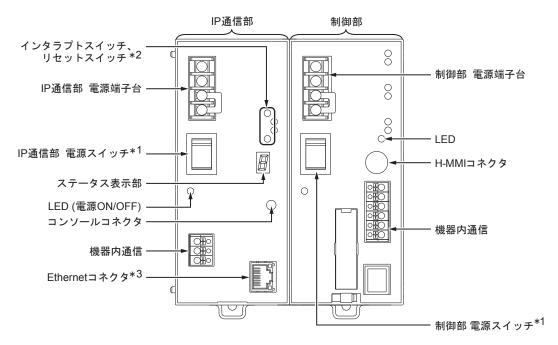


図2 Infilex ZM外形寸法 (mm)

■ 各部の名称



- *1 IP通信部と制御部の電源スイッチは、別にあります。
- *2 インタラプトスイッチとリセットスイッチは、押さないでください。
- *3 10BASE-T/100BASE-TX対応のRJ-45コネクタを使用しています。

図3 各部の名称

■取 付

∧ 注 意



取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。 施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

● 取付場所

- 本製品は、盤内に取り付けてください。
- 高温高湿になるような場所を避けてください。
- 本製品の上部および下部は、他機器と35mm以 上離してください。

● 取付姿勢

取付姿勢は、『図4 取付姿勢』のとおりとします。 傾けた姿勢は、放熱性能が低下し、異常な内部温 度上昇を起こす可能性があるため、禁止します。

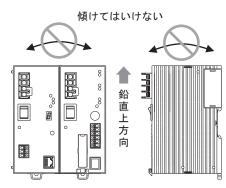


図4 取付姿勢

● 取付禁止姿勢

傾けた姿勢、横に倒した姿勢、天井面、底面への 取り付けは、放熱性能が低下し、異常な内部温度 上昇を起こす可能性があるため、禁止します。

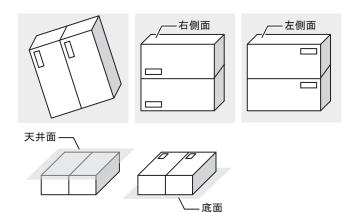
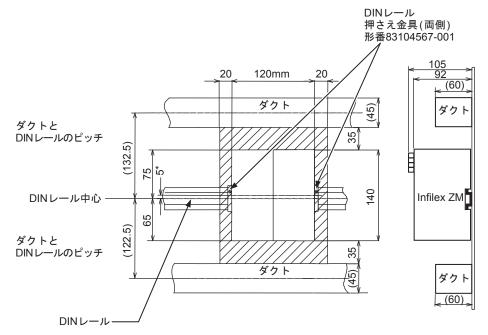


図5 取付禁止姿勢(傾けた姿勢・横に倒した姿勢)

また、製品の上部にものを置くなどして通気口をふさがないでください。

● DINレール取付

DINレール取付時の寸法を『図6 DINレールへの取付』に示します。 斜線部は、メンテナンススペースを示します。

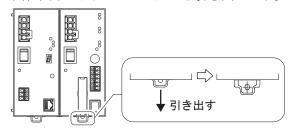


* DINレールの位置は、Infilex ZMの中心から5mm下方にオフセットしています。

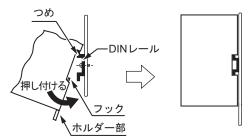
図6 DINレールへの取付

DINレールから脱落しないように、取り付けてください。

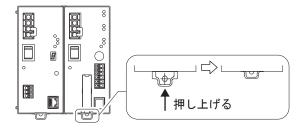
(1) 本体下側にあるDINホルダーを引き出します。



(2) 本体裏面のつめをDINレールに引っ掛け、壁面 に押し付けます。



(3) 本体下側のDINホルダーを押し上げます。



- (4) DINレールに固定されていることを確認します。
- (5) 左右をDINレール押さえ金具(形番83104567-001) 2個で固定します。

● ねじ直接取付

ねじ直接取付時の寸法を『図7 ねじでの直接取付』に示します。

斜線部は、メンテナンススペースを示します。 ねじ取付の場合は、別途手配品のねじタブ (形番 83165861-001) が2個必要です。

M4、L=8のねじにより設置面へ確実に取り付けてください。

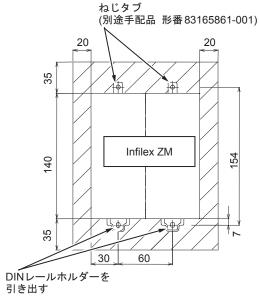
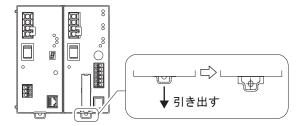
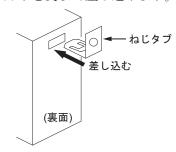


図7 ねじでの直接取付

- (1) 取付場所にねじ直接取付のためのねじ穴を開けます。
- (2) 本体下側のDINホルダーを引き下げます。



(3) 本体裏面にねじタブ (別途手配品 形番 83165861-001) を奥まで差し込みます。



- (4) ねじタブの穴とDINホルダーの穴を使い、M4 ねじで本体を固定します(図7)。
- (5) 設置面に固定されたことを確認します。

■ 結 線

▲ 警告

配線・保守などの作業は、本製品への電源を 切った状態で行ってください。 感電のおそれや故障の原因になります。

端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。

端子カバーをしないと感電するおそれがあります。

↑ 注 意

- 取り付けや結線は、計装工事、電気工事など の専門の技術を有する人が行ってください。 施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。
- 配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。 施工を誤ると、火災のおそれがあります。

端子台に接続する圧着端子に絶縁被覆を使用 してください。

- 絶縁被覆がないと、短絡による火災や感電の おそれがあります。
- ・端子ねじは確実に締めてください。 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の 原因になることがあります。

配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸 法を守ってください。

● 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。

重要!! ●サージ防止具 (サージアブソーバ) には使用回路 電圧・電流・耐容量などの定格種類があり、用途 に応じて選定してください。

● 配線時の注意

- 配線でLEDおよびスイッチ、H-MMIコネクタ、バッテリーホルダー、表示タグが隠れないように束線バンドなどを利用して配線してください。
- ケーブルダクトから機器への配線部分は、たる まないように配線してください。

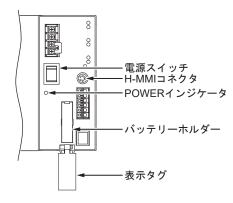


図8 配線の引きまわし

● 電源端子台への配線

M3ねじ端子台用の圧着端子を圧着し、ねじ端子台へ結線してください。

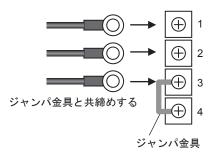
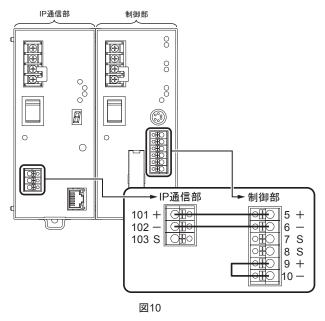


図9 電源端子台

● 機器内通信の配線

IP通信部と制御部の通信を結線します。



通信端子台は、ワンタッチねじレス端子台です。

• Infilex ZMは、ワンタッチねじレス端子台を採用しているため、圧着端子なしで結線します。 通常のマークチューブでは電線を外したとき、 抜け落ちてしまうことがあります。それを防止 するため、次のフラットマークチューブを使用 してください。

フラットマークチューブは、摩擦により電線に 保持されるため、抜け落ちにくくなります。

メーカ名:フェニックス・コンタクト(株)

品 名 : フラットチューブマーカー

品 番 : 5880029 型 式 : TMC-3

適合電線範囲: $0.4 \text{mm}^2 \sim 2 \text{mm}^2$

梱包単位 : 200m/1巻 次の手順で結線してください。

- (1) 電線の被覆を8mmないてください。
- (注)機器正面下部に被覆除去ゲージがあります。 8mmより長すぎると導電部が露出し、感電および隣接する端子間で、短絡する可能性があります。 また、短すぎると導電部が接触しない可能性があります。
- (2) 電線被覆をむいた部分に、ヒゲなどが出ていないことを確認してください。
- (3) 端子台のボタンをマイナスドライバなどで奥まで押し、電線を挿入し、ボタンを離してください(ボタン押力は、23Nまでとします)。
- (4) 電線を軽く引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。 また、ヒゲが出ていないことを確認してください。
- (注) 電線を斜めに引っ張ると、断線するおそれがあります。

● EthernetおよびSC-busの配線

『図11 通信コネクタ』に示すように接続してください。

- EthernetをIP通信部のEthernetコネクタに接続 します。
- SC-busを制御部のSC-bus通信コネクタに接続 します。

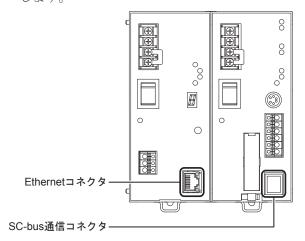


図11 通信のコネクタ

■取 扱

⚠ 注 意

0

本製品の空き端子は、中継などに使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

本製品の通風孔を、ふさがないでください (また、保護シートは設置・結線後にはがしてください)。

通風孔をふさいだままにすると、故障の原因 になることがあります。

● 電源投入前の注意

- (1) 結線が正しく行われていることを再度確認してください。
- (2) 通電までの間に保護シートをはがしてください。
- (注)保護シートが貼ってある面以外(側面、底面)の通気口から 製品内部へ異物が入り込む可能性がある場合は、通気口を ビニールなどでふさいでください。

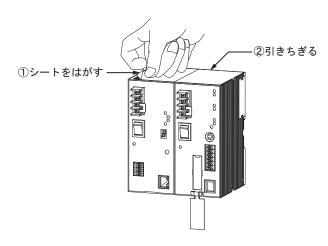


図12

(3) 電源投入後、正常に操作するまでに、数十秒を要します。

このとき、一時的に「重故障 (ERR1)」の赤色 LEDが点灯します。異常ではありません。

<u></u>注 意



本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、 安全のために新品に交換してください。 そのまま使用すると、火災のおそれがあります。

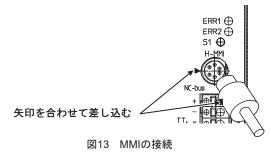
● H-MMI、PC-MMIの接続

(1) H-MMI (形番QY5111A) を接続する場合 変換ケーブルは、不要です。H-MMIのコネク タを直接差し込みます。 このとき、H-MMIのコネクタの ■ マークを

このとき、H-MMIのコネクタの ◀ マークを 左側にし、本体表示の ▶ マークと合わせるよ うに差し込んでください。

(2) H-MMI (形番QY7211A)、またはPC-MMIを接続する場合

D-SUBコネクタを変換ケーブル (形番83104995-001) を使用し、ミニDINコネクタに変換します。 このとき、コネクタの ◀ マークを左側にし、 本体表示の ▼ マークと合わせるように差し込んでください。



● コントローラNo.などの記入

表示タグの裏側は、系統表示ラベルになっています。 表示タグを裏返し、コントローラNo.を記入してく ださい。

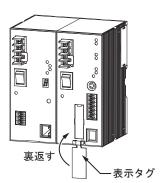


図14 表示タグへの記入

■表示

● 制御部LED表示

| 項目 | 製品表示 | 表示色 | 状 態 | 内容 |
|--------|-------|-----|-----|---------------|
| 電源 | POWER | 緑 | 点灯 | 電源ON |
| | | | 消灯 | 電源OFF |
| 重故障 | ERR1 | 赤 | 点灯 | 重故障、またはリスタート時 |
| | | | 消灯 | 正常 |
| 軽故障 | ERR2 | | 点灯 | 軽故障、またはリスタート時 |
| | | | 消灯 | 正常 |
| 機器内通信* | TX | 赤 | 点滅 | データ送信時 |
| | RX | | 点滅 | データ受信時 |
| SC-bus | TX | 赤 | 点滅 | データ送信時 |
| | RX | | 点滅 | データ受信時 |

* 制御部とIP通信部間通信を示しています。

● IP通信部LED表示

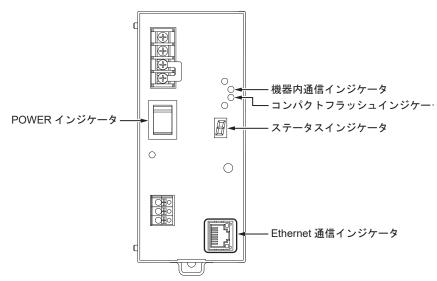


図15 LED表示

● Ethernet 通信インジケータ

Ethernetのリンク、データ送受信、伝送速度を示します。

| 項目 | 製品表示 | 表示色 | 状 態 | 内 容 |
|-------------|----------|-----|-----|-------------------------|
| Ethernet 通信 | LINK/ACT | | 消灯 | 接続対象とリンクが確立していない |
| | 10 | 黄 | 点灯 | 接続対象と10Mbpsでリンクが確立している |
| | | | 点滅 | 10Mbpsでデータ送受信中 |
| | LINK/ACT | | 消灯 | 接続対象とリンクが確立していない |
| | 100 | 緑 | 点灯 | 接続対象と100Mbpsでリンクが確立している |
| | | | 点滅 | 100Mbpsでデータ送受信中 |

● 機器内通信インジケータ

機器内回線状態、データ受信状態を示します。

| 項目 | 製品表示 | 表示色 | 状 態 | 内容 |
|-------|-----------|-----|-----|--------|
| 機器内通信 | NC-bus RX | | 消灯 | 回線未接続 |
| | | 緑 | 点灯 | 回線接続 |
| | | | 点滅 | データ受信中 |

■保守

● バッテリー交換方法

注 意

O

本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付けてください。

バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。

使用後のバッテリーは火中に投じたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。

破裂や発火のおそれがあります。

- 重要 !! ●サービス担当者以外は、バッテリー交換をしないでください。
 - •交換作業時、電源部に触れないでください。
 - ●製品使用状態(通電状態)では、5年ごとに交換してください。
 - 端子電圧チェックなどでは、バッテリー残容量のチェックができません。 5年ごとに交換を実施してください。
 - ・バッテリー交換は、電源を切らないで行ってください。
 - ●製品が未使用、またはそれに近い状態 (無通電状態) が1年続いた場合は、バッテリーを交換してから製品の 使用を開始してください。
- (1) マイナスドライバで、バッテリーホルダーを引き出します。
- (2) コネクタを外し、リチウム電池をバッテリーホルダーから外します。
- (3) 新しいリチウム電池をバッテリーホルダーに入れ、コネクタを接続します。
- (4) バッテリーホルダーを本体に入れます。
- (5) タグのバッテリーラベルに、5年後の年月を油性ペンで記載します。

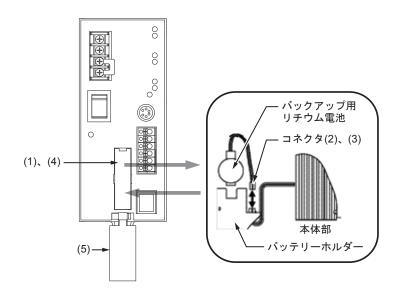


図16 電池の交換方法

● 本体交換

▲ 警告

配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電のおそれや故障の原因になります。

端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。 端子カバーをしないと感電するおそれがあります。

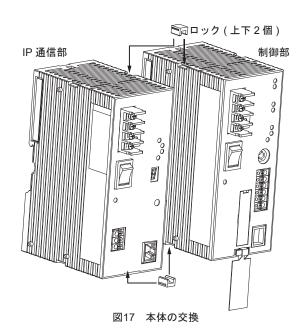
↑ 注 意

端子ねじは確実に締めてください。 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。

本製品を分解しないでください。 故障の原因になることがあります。

IP通信部と制御部の単位で交換できます。

- (1) 本体から結線を外します。
- (2) DINレール、または盤から本体を取り外します。
- (3) 精密ドライバなどで、IP通信部と制御部をつないでいるロックを外します(上下2個)。
- (4) 新しいIP通信部、または制御部と交換します。
- (5) IP通信部と制御部をロックで接続します (上下2個)。
- (6) DINレール、または盤に本体を取り付けます。
- (7) 結線します。



| Infiloy 7M /IE | ⁹ タイプ) 形番 | 交換形番 | | |
|--------------------|--------------------------|--------------|--------------|--|
| ITILITIES ZIVI (IF | *ダイフ) 形留 | IP通信部 | 制御部 | |
| ワイド電源 | WY5522W1000 | 83172980-102 | 83165880-112 | |

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。

本ページは、編集の都合により追加されている白紙ページです。

- * Infilexは、アズビル株式会社の商標です。
- * Ethernetは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー



[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する 場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

https://www.azbil.com/jp/

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。

2020 年 4 月 改訂 2.0 版 AI-7313 (IND)